

2025 年 3 月 12 日

太陽農園 就労継続支援B型 管理者 柴田徹也

## 『2025 年度太陽農園事業計画』（案）

定員 20 名 登録者 31 名

（知的障がい 10 名、 精神障がい 15 名、身体障がい 4 名、 発達障がい 1 名）

《太陽農園マニフェスト》

～私たちは障がいがあってもなくても人生を楽しめる環境づくりを目指します～

### 1、 運営方針

職員であっても、利用者であっても充実した日々を過ごす事を目指し、様々な体験や其々の願いの叶う場を提供します。また精神面の安定を継続する為に定期的な声掛け、相談、通院同行、各種関係機関との連携を行い問題の早期解決に努めます。就労部門に関しては主力となる燐製事業を基盤とし木工等の手芸品の製作に加え農業に取り組み、ひとり一人に合った作業を模索し提供します。また更なる工賃の向上を目指し、利用者の生活と心の安定、余暇活動の充実、社会的な貢献を目指します。

- ・ 月に一回の「つみきの会」での決定事項を実現する為の運営を行う。
- ・ 燐製製品のふるさと納税や市清掃課との生ゴミ削減の取り組みにより、地域に貢献できる活動を続けます。
- ・ 燐製の技術や販売方法を全国の事業所と共有し、より多くの利用者の方の生活を支え、職員のやりがいや生き甲斐を提案します。（2025 年度中に新たに 2 事業所を追加目標）
- ・ 新太陽農園の稲垣移転に向けて計画を進めます。（5 年計画の内 2 年目）

### 《 就 労 部 門 》

#### ① 燐製部門年間売り上げ目標 2, 2 0 0 万円

燐々会議にてそれぞれが意見を出し合いました。嗜好品ということもあり物価高なことを見込んだ上で毎月 180 万円を目標にしました。

（全国区へ向けての営業）

令和 7 年度の目標として年間を通して営業を心がけ、毎月 2 件以上新規取扱店舗を増やす。

（ギフト対応の充実）

価格帯に応じたオリジナルのBOXを今年度中に製作し、日々のおつまみというイメージだけでなく贈答品や返礼時に使っていただける商品を作る。

（メールマガジンの発信）

毎月一回、季節の商品や新商品紹介、取扱店舗様へのキャンペーンのお知らせ連絡を行う。

(佐伯市のお土産としてのブランディング)

THE 佐伯市というような商品を作り、ふるさと納税など更に売り上げアップにつなげる。

(燻製屋燻々グループの連携)

高知、鹿児島、愛知と定期的にオンライン報告会を開催し、現状報告等行いコミュニケーションを図る。

(製造チーム全体のスキルアップ)

現在のポジションだけでなく苦手な分野にも挑戦したり、効率が上がる様工夫したり、新商品開発などに取り組む。

## ② 木工製作部門

- ・清掃課との取り組み、ミニキーロの製造、配布。 キューロの販売強化。
- ・積み木類、アクセサリー等の販路開拓。 ・ツミニキの販路拡大、宣伝。
- ・オンライン販売の促進。
- ・福祉機関や公共機関等から、景品などの受注の窓口を拓ける為にSNSを使った宣伝。

☆木工部門年間売り上げ目標 250万円

## ③ 農業部門

- ・外に出て日にあたり身体を動かす事や農産物を育てる喜びを共有
- ・サツマイモを中心に作付け
- ・収穫したサツマイモはスイーツや壺焼き芋の材料として加工・販売

※2025年度の就労部門収益目標 合計 2,500万円

☆目標 平均工賃 月額 38,000円